

売薬の意匠あれこれ 〈その12〉 学用品

北多摩薬剤師会会長 平井 有(ひらい・たもつ)

前は子供を対象にした販促アイテムの塗り絵やスケッチブック、クレヨンを紹介いたしましたが、今回はもう少し年齢の上がった小学生やそれ以上の生徒を対象とした学用品を紹介したいと思います。

特に鉛筆は、軸にキャッチコピーや商品名などが印刷できるため、販促品として多用されました。同じく学用品として必須の消しゴムや下敷きも広告が印刷しやすいので重宝されました。

■ 鉛筆



武田薬品工業「アリナミン、パンビタンペレー、リポコール」

ドロップ状の総合ビタミン剤(パンビタンペレー)と総合強肝剤(リポコール)は、今は販売されていない。

塩野義製薬「ポボンS」

現在も指定医薬部外品として販売されている6歳以上から服用できる総合ビタミン剤。

久光製薬「エアーサロンパス」

貼付薬からスプレー式へと画期的な進歩を遂げた鎮痛消炎剤。

大幸薬品「正露丸・セイロガントーイ」

日露戦争の軍隊用薬品「征露丸」から続く息の長い伝統家庭薬。

■ スクールセット

サンスター

鉛筆、キャップ、消しゴムのセットが1ダース付いた吊り下げ型の販促品。昭和23年(1948)から昭和44年(1969)まで塩野義製薬と薬用歯磨きの発売を提携していた。アイキャッチのペンギンは清潔のイメージから。



エーザイ「スカイナー、ノイチーム」

アレルギー専用薬「スカイナー」(OTC薬)と卵白リゾチーム製剤「ノイチーム」の鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、定規のセット。「ノイチーム」は平成28年(2016)に販売中止に。

■ 消しゴム

(左から)

明治製薬「ベニシリン軟膏明治」
明治製薬(現 Meiji Seikaファルマ)が販売していたベニシリンの軟膏製剤。現在ではアレルギーの懸念から販売されていない。

三共「ミネビタール」

三共(現 第一三共ヘルスケア)が販売していた総合ビタミン剤のゴム製消しゴム。

山之内製薬「マキロン」

キャラクター「マキロン坊や」の消しゴム。平成16年(2004)、山之内製薬と藤沢薬品工業のヘルスケア部門が統合しゼファーマとなったが、平成19年(2007)、第一三共ヘルスケアに統合された。

参天製薬「ジュニアサンテ」

医療用点眼液製剤のトップメーカー参天製薬の子供用目薬。点眼薬の形状を模したプラスチック製消しゴム。



■ 下敷き



興和「コルゲンコーワ」

「レスタミンコーチゾンコーワ軟膏」この「ケロちゃん」は昭和30年代に誕生したもので、昭和52年(1977)にケロちゃんとかろちゃんにバトンタッチしている。医療用およびOTC薬の研究・開発・製造は興和が行い、医療用医薬品の販売を興和創業、OTC薬の販売を興和新薬が担当している。

大塚製薬「オロナイン軟膏」

読売ジャイアンツの終身名誉監督のマスタージャイアンツこと長嶋茂雄氏が選手時代の下敷き。



ピップフジモト「ピップエレキバン」

磁器治療器「ピップエレキバン」の発売は昭和47年(1972)。下敷きは、片面がひらがな、もう片面がカタカナの五十音表になっている。現在の社名はピップ。



■ メートル換算・早見表



武田薬品工業「ベンザ」

クルクルと回すと換算数値がわかる早見表。長さ(尺、間、町、センチ、メートル、インチ、ヤード)、質量(匁、貫、斤、グラム、キログラム、オンス、ポンド)、体積(合、升、斗、石、立法メートル、リットル、ガロン)の換算ができる。

■ 時間割表

森下仁丹「仁丹体温計」

体温計の付いた時間割表。土曜日の授業が当たり前だった時代のもの。

